

---

# タオルベイベー

上村忍

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

タオルベイビー

### 【Nコード】

N0661P

### 【作者名】

上村忍

### 【あらすじ】

さらっと読める。なんか残る。

そんなショートショートを。

例年になく暑い夏になった、とニュースで言っていた。

毎年毎年同じようなフレーズを耳にするような気がする。温暖化なのかどうなのかは、情報過多なこの時代、信じていいのかどうかもわからない。

ただ、バイクに乗るにはたまらないなあ。と思う。

初夏、7月。北海道には梅雨はないというもの、6月はやはりアジサイのイメージがある。後は、かたつむり。アジサイは雨にぬれていなければ、アジサイとは言えない。

そして、7月。久しぶりの休みで、バイクに乗るにはもってこいの快晴だった。朝早く起きて、3時間ほど走らせた。特に目的もなくバイクを走らせる。空が高く感じる。

ある程度走った所で、大きくも小さくもない町に辿り着いた。まだ、日は高く登っていない。休みの日に朝早く行動すると、なんだか得した気分になる。

ふと、コーヒーの看板に目が行った。スピードを落として、ヘルメットを取る。さわやかな風が汗ばんだ髪をなでた。

冷たいアイスコーヒーでも飲もうと、店に向かう。田舎の街並みに似合う、こじやれたカフェだった。いかにも、そういうのが好きな人が始めたような。

店先には、ソファアールが一つ。オープンカフェにもなっているようだ。

一人の若い女が、ベビーカーを横に置いてくつろいでいた。

平日のこんな時間にカフェとは、良い身分だなあと軽くイラつきながら、店の扉に手をかける。

本日のお勧めのコーヒーは、店独自のブレンドだった。味は、可もなく不可もなく。脱サラして始めたカフェならこんなものかな？と思う。

店から出ると、さっきの女が目についた。ベビーカーの赤ちゃんをあやしているようだ。

「いない、いない〜ばあ！」

と、顔の前に両手をかざして赤ちゃんをあやしている。ほほえましい光景だったが、なんだか少し違和感を覚えた。

「いない、いない〜ばあ！」

女はとても楽しそうにしている。何が不自然なのか？

声がないのだ。あやして、キャツキャツ言う赤ん坊の声がない。泣いている子をあやしているのなら、泣き声は聞こえるはずだ。

しかし、女の声だけが響いている。

ベビーカーの後ろしか見えないので、赤ん坊の顔は見えない。寝ているのだろうか？とも思ったが、寝ている赤ん坊をあやすこともないだろう。

少し、気になったが、アイスコーヒーを飲みながらバイクに寄りか

かる。日差しはどんどん強くなっているようだ。

コップの端を加えながら、大きく伸びをした。バイクで固まった身体が嬉しい悲鳴をあげている。ギシギシ。

そんな時、ふと女と眼があった。軽く会釈をする。女も軽くほほ笑んだ。

コーヒーを飲み終え、ごみ箱に捨てようとする。ベビーカーの中が見える角度に身体が動く。

ベビーカーの中には、くると巻かれたタオルがあった。赤ん坊に  
いる場所に、タオルがあった。

本来ならば、赤ん坊が笑っている場所に水色のタオルがあるのだ。  
他の光景は何も違和感がない。タオルだけが、異質だった。

目がベビーカーにくぎ付けになった。女は、そんな目を気にしてか  
どうかわからないが、タオルを肩に抱き、あやし、揺らし始めた。

「よしよし、よしよし」

「よしよし、よしよし」

そこに、カフェの店員がやってきた。

「あら、暑くて泣いちゃったのかな？」

「そうかな？ いっきに暑くなったもんね。よしよし。」

「いないいない、ばあー！」

俺は、コーヒーのコップをゴミ箱に捨て、ヘルメットをかぶり、バイクを発進させた。

もうこの町には来ないだろう。と思う。

家に帰ると、お腹を大きくした奥さんが出迎えてくれた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0661p/>

---

タオルベイビー

2010年11月22日09時06分発行